

	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林の林況は、継続して適切に管理されており、良好である。 ・路網整備された路線は、良好に維持・管理されている。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、重視すべき機能（水源涵養等）の区分に応じた良好な森林が形成されつつある。 ・路網整備事業の実施により、森林整備施業地までの到達時間の短縮、作業コストの縮減等が図られるようになった。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観を保持し、森林資源の充実に図っている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>本森林計画区における人口は減少しており、林業就業者数も年々減少している傾向にある。こうした状況の中、林業では、高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、森林施業に資する林道、林業專業道及び森林作業道の有機的な連結により効果的な森林施業が展開されており、間伐等の推進が期待されている。また、利用期を迎える人工林から生産される丸太の新たな販路の拡大等、需要の拡大に向けた取組が進められている。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>ニホンジカによる森林被害が被害早池峰山周辺森林生態系保護地域で確認されており、関係機関と連携し、適切な防除対策の推進を図る。</p> <p>また、森林施業において、近年人工造林の利用期を迎えた森林の増加していることから、再造林については伐採作業と造林作業の連携を図る一貫作業システムを導入し、植栽にはコンテナ苗を使用するとした低コスト化に向けた現地検討会を県職員や市職員、地元森林組合等を対象として実施してきたところであるが、引き続き現地検討会等を開催するなど、民有林での低コスト化が図られるように取組む必要がある。</p>
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>本事業の実施により、水源涵養等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られ、事業の効果が発揮されていると認められる。</p> <p>今後も、現地の状況と事業の評価を踏まえ、引き続き森林整備や路網の維持管理を適切に実施するとともに、事業を通して地域に貢献していくことが望ましい。</p>
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 地球温暖化防止対策や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。 ・効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業
 施行箇所：三陸北部森林管理署

都道府県名：岩手
 (単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	7,284,638	
	流域貯水便益	1,686,517	
	水質浄化便益	3,551,023	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,927,980	
環境保全便益	炭素固定便益	1,533,798	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	2,329,037	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,138,404	
総 便 益 (B)		25,451,397	
総 費 用 (C)		4,438,718	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{25,451,397}{4,438,718} = 5.73$		

